

EVENT CALENDAR

Calendar table showing dates from August to September with event markers like stars and circled numbers.

★8/4ヨコハマトリエンナーレ2017開幕!

公式イベント

詳細は決まり次第サポーター公式ウェブサイトにてお知らせします。

①ヨコハマラウンド 8/4, 8/5 ラウンド4 「繋がる世界と孤立する世界」(アーティストトーク) 場所: 横浜美術館円形フォーラム

②ヨコハマスクリーニング 日時: 9/16, 9/17 13:30 ~ 15:30 ~ 場所: 横浜美術館レクチャーホール

③ヨコハマプログラム 水族館劇場 日時: 9/1 ~ 9/5, 9/13 ~ 9/17 各日 18:30 ~ 20:30 場所: 寿町総合労働福祉会館再整備事業用地

④子どもアドベンチャー 日時: 8/17, 8/18 10:00 ~ 16:00 ハマトリーツ!による親子で楽しめるワークショップも行います!

ハマトリーツ!による「ギャラリー・ツアー」も開催! 展示室を巡りながら作家や作品についてハマトリーツ!が解説します!

サポーターイベント

詳細はサポーター公式ウェブサイトをご覧ください。

⑤第3回全国芸術祭サポーターズミーティング in ヨコハマ 9月23日、ヨコトリーツ!第2期Vol.01で報告した「全国芸術祭サポーターズミーティング」が今年は横浜で開かれます!

⑥遠足企画: 札幌国際芸術祭2017へ行こう! 日程: 9/9 ~ 9/10

横浜トリエンナーレサポーターHama-Treats!sフリーペーパー「ヨコトリーツ!」THE SECOND SEASON Vol.05 [通巻17号]

次号予告 ついに開幕! その熱気を伝えます

2017年9月 発行予定

ヨコトリーツ!

横浜トリエンナーレサポーター Hama-Treats!sフリーペーパー Yoko-Treats! THE SECOND SEASON Vol.05 [通巻17号]

Jul. 2017

Yokohama Triennale 2017 Main Exhibition Venues

開幕直前! 参加アーティスト 宇治野宗輝が語る

新連載 Let's ヨコハマ Cooking!

ハッシュタグで伝えよう #ヨコトリと いっしょ

★ ヨコハマ トリエナーレ 2017 島と星座と ガラパゴス

Yokohama Museum of ART

Yokohama Port Opening Memorial Hall

Yokohama Red Brick Warehouse No.1

Hama-Treats! フリーペーパー

「ヨコトリーツ! (Yoko-Treats!)」は、「横浜トリエンナーレ」を応援し一緒に盛り上げる活動を行うサポーター「ハマトリーツ!」による手作りのフリーペーパーです。

ヨコハマトリエンナーレ2017 「島と星座とガラパゴス」 会期: 2017年8月4日(金) ~ 11月5日(日) ※ 第2・4木曜日休場

ヨコトリーツ!

ハマトリーツ! 自主活動 グループ近況報告

観る・学ぶ

本展期間中、来場者の皆様に参加できる3つの企画でヨコトリを盛り上げます!

料理部

「料理を作ってこそ料理部」というわけで、6/18(日)野毛地区センター料理室にて初めての試食会を行いました。

遠足

9月9日、10日、札幌へ行きます! 札幌国際芸術祭2017 (SIAF2017) サブテーマは「ガラクタの星屋たち」

情報発信

情報発信Gは、会期中、ヨコトリーツ!の発行間隔を短くします。ハマトリーツ!の皆様からの記事・企画提案から、【イベントカレンダー】や料理部の新連載【Let's ヨコハマCooking!】を始めました!

時をかけるヨコハマ

時ヨコでは、会期中に配布予定の「周辺街歩き案内書」を校正中。ヨコトリ会場間を楽しく歩いていただく内容を盛り込んだ、6種類になります!

活動支援

今回展、活動支援グループは「ヨコトリしゅみせん! ~世界は〇〇でできている」と題してヨコトリを支える様々に焦点をあてるサロンを予定しています。

アートアクセシビリティ

当グループでは、会場移動のためのバリアフリーマップ作成、障がい者向けやさしいちらしづくり、夏休みの子ども向けイベント企画や視覚障がい者向け鑑賞会など、10月頃まで取り組み目白押しです!

サポーター活動に参加するにはまずサポーター登録を!

サポーター活動の詳細はハマトリーツ!公式ウェブサイトをチェック! サポーター登録をすると最新情報をメルニュースで受け取れます!



REPORT

SNSで伝えよう #ヨコトリと いっしょ

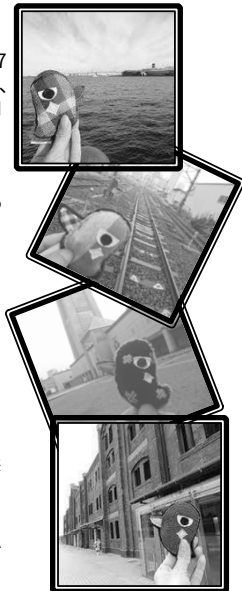
横浜のまちを歩いて、ヨコハマトリエンナーレ2017を応援できる!! 誰でも参加できるSNSキャンペーンを、ハマトリーツ! から発信しています。

- [参加方法] (2017年7月30日~10月29日) ①横浜トリエンナーレ応援グッズ「ヨコトリ」を持って、横浜の景色を撮影する。(イメージ: 写真参照) ②ご自身のSNSアカウント (Twitter、Facebook、Instagramなど) で、ハッシュタグ「#ヨコトリと いっしょ」または「#yokotoritoissho」をつけて①の写真を投稿する。

投稿された写真の中から、「ヨコトリ」製作者のアーティスト・安部泰輔さんによる審査のうえ、「島賞」・「星座賞」・「ガラパゴス賞」を決定します!

自分ならではの横浜の景色を切り取って、皆で横浜トリエンナーレを盛り上げていきましょう! ※「ヨコトリ」は安部泰輔さんの作品で「横を向いたトリ」をモチーフにした布製バッジです。

「ヨコトリ」とあなたを繋ぐ星占術 美術館 ビジターサービスセンター内に本展キーワード「星座」にフォーカスした「星占術」を設けることとなり。古くから吉凶を占う手段、また人生の羅針盤として使われてきた「西洋占星術」は、ある出来事(例えば出生)が起きた時の星の配置から未来を予知しようとするものになります。



ヨコトリとあなたを繋ぐ星占術

トリエンナーレ学校「宇治野宗輝と語りう」参加レポート

大量生産で忘れ去られたものを接続する

6月28日(水)、トリエンナーレ学校に、ヨコハマトリエンナーレ2017参加アーティストの宇治野宗輝さんが登壇されました。ヨコハマトリエンナーレ2017キュレーター/横浜美術館主任学芸員の木村絵理子さんとの対談形式でお話は進みます。



トークの様子

練馬の原風景が相対的視点のベイスに
まず木村さんは宇治野さんの生い立ちについて話を向けています。宇治野さんは、東京都練馬区出身。練馬の風景が原体験だと語ります。練馬は東京のニュータウン。都市文化の歴史がありません。東京の文化的な中心部渋谷、原宿や六本木から片道約1時間の距離にあり、移動時間から文化の差を相対的に考えるようになったとのこと。また、西洋文化の発信地横浜、文化の蓄積がある関西との対比も感じてこられたようです。

この「相対的/相対化」というキーワードはその後トークの中で何度も出てきます。帰宅後は和服に着替え骨董を愛でるような家内と外の相対化。芸大で工芸を学んだのも渋谷原宿の文化とは相対的な位置にあるから。他にも直接「相対化」という言葉は使われませんが、音楽の主流と即興ライブパフォーマンス、グローバル化した社会とそこで残るローカル；等の対比が示されます。

ライブパフォーマンスとサウンドスケルプチャー

音楽に関しては学生時代から始めたが、音楽そのものよりもそのグラマラスな雰囲気惹かれたもので、そのためプロになるような音楽家とは一線を画した意識があったそうです。1990年後半、松蔭浩之とゴージャラスというユニットで表現するためと語ります。電気ドリルで音を出す楽器「ライブアーム」は、今のサウンドスケルプチャーにつながるご存知でしょうか。2009年、2011年、2016年に韓国、ナムジュンパイク・アートセンターでサウンドスケルプチャーを出展しますが、ここに宇治野さんが加わるとライブパフォーマンスになります。これはパフォーマンス・アートとスケルプチャー(彫刻)の境目がなくなってきたということです。時間軸は違っても、どちらも設営をして、実演・展示を行い、撤収します。

工業化大量生産プロダクトとグローバル化

大量生産されたものに対する問題意識は宇治野さんのアートに通底するテーマです。ライブパフォーマンスで使われるバナナも、電気ドリルやドライヤーと同様大量生産の象徴で、世界中どこへ行っても同じ種類のバナナが同じくらいの高格で手に入ります。また、世界中どこでもエスプレッソマシンで同じコーヒーが飲めます。一方、自動車は変わらないのだけど、タクシーは各地でちよとずつ違いますが、宇治野さんはそんなローカルに興味を惹かれていきます。2000年代に多文化主義のブームがあり、宇治野さんの展覧会への出品が増えます。今回ヨコハマトリエンナーレ「ライブウッド・シティ」シリーズの新作が展覧されます。ライブウッドは合板のことで、貨物を梱包する木箱(クレート)の素材です。これも大量生産と「グローバル」な移動の象徴です。赤レンガ倉庫一号館会場に15〜16個のクレートが都市のように並べられ、その各所に設置されたカメラの映像が巨大スクリーンに投影されます。

孤立と接続

会場から、ヨコハマトリエンナーレ2017のテーマとの関係についてどう考えるか質問がありました。宇治野さんの答えは「日本では音楽や舞台、出版など、多くの他の文化的な職業の人からアートは下に見られており、アートそのものが孤立しやういなくなってきた。しかし今は、インターネットなどで勝手に接続を作れるようになった」でした。これに加え、木村さんが最後に勝手を「バナナ」であれクレートであれ、それぞれが本来あったものからいかに経緯を経て集まってきた、宇治野さんの手によってまとめられた作品になる。に、「接続性」を感じました。大量生産で意識から抜け落ちて孤立したものが、星座のように接続され新しい価値を得る。そんな世界が見られる本展が楽しみです。(上田)

ヨコトリ2017 このアーティストに期待!

前回に引き続き、サポーターによるヨコトリ2017参加アーティストの紹介(個人的なおすすめ)です。

アレックス・ハートリー

星屑になった「どこにもない島」
By 青木邦彦

NOWHEREISLAND. NOWHERE ISLANDと区切れれば「どこにもない島」、NOWHERE ISLANDとすれば「(今、)ここが国土」となる。

NOWHERE(どこにもない)をNOWHERE(今ここにある)とするウィットは英語では頻出なれど、言葉遊びの粋を越えてどこにもなかった島を国土にしてしまったのがALEX HARTLEY.

北極圏で温暖化の影響が後退する氷河の中から現れた島を見つけると、その一部を国際水域まで引っ張って新たな国家の成立を宣言。まさにNOWHERE



ISLANDがNOWHERE IS LANDとなった瞬間。世界中から市民を募集しつつ、ロンドン五輪期間中には島はイングランド南西部の臨海都市を巡り、最後の寄港地 Bristolで砕かれ135国籍23,003人の「市民」の中の希望者に配られると同時に、一部は気球で成層圏まで運ばれている。今回、島の一部と共に、英国で巡回したものは形は違えど、大使館機能を持つパン"Travelling Embassy"も横浜にやってくる(ヤア!ヤア!ヤア!)こととなり、この壮大なプロジェクトの片鱗が観られる期待感と共に、彼はこの「島」に何を思い描き何を託したのだろうかという想像を巡らせている。

アレックス・ハートリー
《Nowhereisland (どこにもない島/ここが国土)、メヴァギジー村へ行く》2012
Photo by Max McClure

* 今回の展示とは異なります。

アイ・ウェイウェイ

不屈の闘士アイ・ウェイウェイ
by 上田良寛

アイ・ウェイウェイは2008年北京オリンピックのメインスタジアム、通称「鳥の巣」建築の芸術顧問として有名です。では彼が体制派のアーティストかというそうではなく、2009年に森美術館で行われた個展には、オリンピック開発によって住むところを追われた住民をテーマにした作品がありました。2008年の四川大地震ではいくつもの学校が手抜き建築で倒壊して多くの子供達が犠牲になったため、政府を批判しています。その後当局に拘留されたり、アトリエを破壊されたりしていますが、彼は折れません。

今は難民問題にもコミットしています。今回ギリシア・レスボス島に漂着した難民が実際に着ていた大量のライブジャケットとポートを使った作品が横浜美術館の正面に展示され、来訪した観客を圧倒します。

日本人は昔、ベトナム戦争から逃れてきたインドシナ難民を温かく迎えてきたそうです。それが今、難民に対して最も厳しい国の一つになっています。長く続く経済不振がそうさせていると思いますが、当時だってまだ豊かではなかったはず。難民問題は人道の問題です。アイ・ウェイウェイの作品を見て、日本人がそのことを思い出してくればと思います。

川久保ジョイ

アートで感じる時間の流れ
by 中島俊春

美術館の壁に刻まれる不思議な模様。もしそれが日本の将来を予言するものだとしたら…?

川久保ジョイ氏は、金融トレーダーとしての経験も持つ異色のアーティスト。彼の作品を見た感想を一言で表現するとしたら「シンプルで美しい作品」と私は答えます。ただ、作品制作の過程から垣間見える時間の流れを感じることで、より深く作品を楽しめるようになることでしょう。

例えば「千の太陽の光が一時に天空に輝きを放ったならば」、原発事故のあった福島に長期埋められたフィルムを現像した鮮やかな作品。見た目の美しさに留まらず、原発事故の地でフィルムに起きた緩やかな変化や福島の今後など考えを膨らませることができそうです。

また、同氏はドル/円相場の長期予測が壁に刻み込まれた作品「イカロスの落水/水落」を昨年発表しています。ヨコハマトリエンナーレ2017では日本の地価の推移を長期予測した結果で形作られます。壁に刻まれた将来予測の一端から、私たちが住む社会の今後を思わずにはいられなくなることでしよう。

料理部 presents Let's ヨコハマCooking! #1 ナポリばん



材料(4個分)
スパゲッティ(太め): 乾麺で100g
野菜(玉ねぎ、ピーマンなど): 100g
ベーコン: 1枚
ケチャップ: 大さじ4
塩・こしょう: それぞれ少々
バター: 10g
油(麺にかかめる用と具材炒め用にオリブオイルかサラダ油: 大さじ1
ドッグパン: 4個

「アート」と「横浜」をキーワードにオリジナルレシピに挑戦中の料理部。今号は横浜発祥と言われるナポリばんを使った、炭水化物どんこの「ナポリばん」をご紹介します。

作り方
1. スパゲティを半分に折ってからゆでてザルに上げ、油をからめておきます。
2. 野菜とベーコンを一口大に切って炒め、火が通ったらケチャップとバターを加え、さらに2〜3分炒めます。
3. 火を止めてスパゲティを加えよく絡めます。
4. ドッグパンの真ん中に切り込みを入れ、ナポリタンスパゲティをはさんで出来上がりです。

料理部試食会潜入レポート 「夏のナポリばん祭り」

6月18日(日)に料理部が開催した「試食会」に潜入してきました。横浜・桜木町駅にある野毛地区センター、「料理室」と書かれた鉄の扉を開くと、せわしなく働く10名の女性達。野菜を炒める人、卵の殻を剥く人、饅頭を蒸し器から取り出す人、パンの殻を剥く人、オーブンの余熱をする人。ひとり何役もこなしながら、美味しそうな料理が出来上がっています。

